

NPO 釜ヶ崎

野宿生活者の就労機会拡大・居住・生活の安定のために、私たちは努力します。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-5-4
TEL06(6630)6060 E-mail: npokama@npokama.org http://www.npokama.org

お知らせ 第5回釜ヶ崎支援機構総会 —2004年6月2日(水)午後7時より開催—

釜ヶ崎支援機構第5回総会を来る6月2日(水)午後7時より「西成市民館・3階・講堂」で開催いたします。右下地図をご参照下さい。

ご多忙とは存じますが、ご参集下さいますよう、お願いいたします。

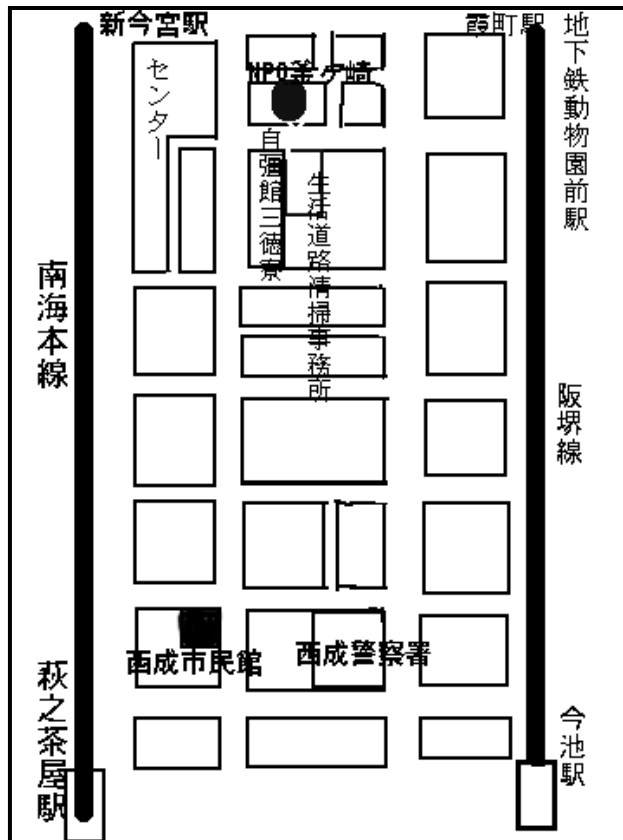
がございましたら、書面にて5月30日までにご提出下さい。会員でご欠席の方は、総会の成立に関わりますので、委任状をご返送下さいますようお願い申し上げます。

議 題

- 1、事業報告
- 2、決算報告
- 3、会計監査報告
- 4、事業計画案
- 5、予算案
- 6、長期借入金承認の件
- 7、理事再任の件
- 8、その他

以上について審議いたします。本年は定款による役員改選期にあたるため人事(再任)が議事に含まれています。

なお、その他に提案事項



2003 年度事業報告

昨年度に引き続き、緊急地域雇用創出基金を活用しての事業を大阪府・大阪市から委託された。府市の事業で、野宿を余儀なくされている高齢労働者や野宿にいたるおそれのある高齢労働者を中心に延べ 109,313 人雇用（昨年度は 84,735 人）し、多少の収入増をもたらして困窮生活をいささか緩和することに貢献した。また、経費節減に努め、人件費を確保して 3 月に延べ 650 人の増員を実現し、就労機会拡大に貢献した。

民間の就労機会提供事業では、連合大阪からの依頼によるメーデー会場清掃で 100 名の雇用が増えた。

その他にふるさとの家やノートルダム修道院から除草作業の依頼を受け実施した。

昨年度に引き続き「あいりん臨時緊急夜間避難所」の運営と本年 1 月 22 日から新たに開設された萩之茶屋夜間宿所（440 人利用可能）の運営委託を大阪府から受け、延べ 203,629 人（昨年度は 199,598 人）に寝場所を提供した。そのことにより、寝場所探しの苦難を軽減することに貢献した。

昨年度に引き続き「野宿生活者常用雇用促進事業」の委託を大阪府から受け、大阪府が設置した「自立支援センター」（市内 3 ヶ所）入所者を一時的に雇用し、就労リズムの再獲得のための作業を実施

した。

昨年に引き続き、大阪市より「野宿生活者能力活用推進事業」の委託を受け、自立支援センターや仮設避難所の入所者に求人情報を提供するほか、靴修理・自転車修理の技能講習を実施した。2 名が「自転車安全整備士」資格を取得した。

昨年に引き続き、「西成仮設避難所運営補助事業」・「大阪城仮設避難所運営補助事業」を「みおつくし福祉会」から委託され、入所者の現金収入となる所内作業や巡回相談などの業務を行い、施設入所者の生活向上に幾ばくか貢献した。

昨年に引き続き、自助努力援助事業としてアルミ缶買い取りを実施した。

生活相談を受け、居宅保護・施設入所・入院の手続きをサポートして野宿生活からのよりましな状況への移行を実現した（年間新規相談数約 500 人）。

輪番労働者 1,246 人の集団健康診査を実施した。

野宿生活者が販売員となる雑誌「ビッグイシュー」の発足に協力し、発刊後は「中継ぎ」をおこなった。

「NPO 釜ヶ崎通信（広報版）」を大阪市内各区役所情報提供コーナーに置き、配布した。

間接的な事業としては、独自ドメインでのホームページやマスコミを通じて野宿生活者の実情を広く伝えることに努め、野宿生活者への世間一般の理解を深めることに貢献した。

2003年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(2)【受託事業の部】
(2003年4月1日～2004年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 事業収入		
あいりん生活道路清掃事業	83,943,300	83,943,300
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	51,998,736	
保育所環境美化推進事業	51,998,736	
児童遊園環境美化推進事業	51,998,736	
各区環境美化推進事業	137,692,647	
市有地環境美化推進事業	9,329,712	303,018,567
高齢日雇労働者就労自立促進事業	231,596,000	
野宿生活者常用雇用促進事業	77,622,000	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	64,803,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	58,733,001	
あいりん臨時緊急夜間避難所(萩之茶屋)運営事業	10,259,819	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	35,356,312	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	40,128,933	
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業 (西成・大阪城所外作業)	36,532,251	
野宿生活者能力活用推進事業	17,525,000	572,556,316
経常収入合計(A)		959,518,183
II 経常支出の部		
1 事業費		
<人件費>		
あいりん生活道路清掃事業	80,444,229	80,444,229
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	45,596,666	
保育所環境美化推進事業	45,598,294	
児童遊園環境美化推進事業	45,596,846	
各区環境美化推進事業	119,755,459	
市有地環境美化推進事業	7,090,210	263,637,475
高齢日雇労働者就労自立促進事業	196,785,557	
野宿生活者常用雇用促進事業	61,050,346	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	59,931,606	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	49,641,021	
あいりん臨時緊急夜間避難所(萩之茶屋)運営事業	7,708,092	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	34,318,575	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	38,735,374	
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業 (西成・大阪城所外作業)	33,253,844	
野宿生活者能力活用推進事業	12,098,520	493,522,935
人件費計		837,604,639
<その他経費>		
あいりん生活道路清掃事業	3,499,071	3,499,071
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	6,402,070	
保育所環境美化推進事業	6,400,442	
児童遊園環境美化推進事業	6,401,890	
各区環境美化推進事業	17,937,188	
市有地環境美化推進事業	2,239,502	39,381,092
高齢日雇労働者就労自立促進事業	34,810,443	
野宿生活者常用雇用促進事業	16,571,654	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	3,102,394	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	9,091,980	
あいりん臨時緊急夜間避難所(萩之茶屋)運営事業	2,221,380	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	1,037,737	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	1,393,559	
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業 (西成・大阪城所外作業)	3,278,407	
野宿生活者能力活用推進事業	5,426,480	76,934,034
その他経費計		119,814,197
経常支出合計(B)		957,418,836
経常収支差額(A)-(B)		2,099,347
前期繰越収支差額(C)		0
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		2,099,347

※注1: 当期収支差額の2,099,347円は大阪府・市への返還予定額

※注2: 就業延人数=109,313人

あいりん生活道路清掃事業=10,983人
 あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業
 バス停清掃事業=5,849人
 保育所環境美化推進事業=5,849人
 児童遊園環境美化推進事業=5,849人
 各区環境美化推進事業=15,459人
 市有地環境美化推進事業=920人
 高齢日雇労働者就労自立促進事業=24,974人

野宿生活者常用雇用促進事業=10,250人
 あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業=7,590人
 あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業=6,821人
 あいりん臨時緊急夜間避難所(萩之茶屋)運営事業=1,052人
 西成緊急臨時避難所運営補助事業=2,562人
 大阪城緊急臨時避難所運営補助事業=2,928人
 公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業=8,227人

(1)委託事業の年度内変動については959,518,183円で、約2千5百万円の増額となった。

受託事業の2003年度当初総予算は、934,318,652円であったが、年度末決算額増額の原因は、大阪府の高齢日雇労働

者就労自立促進事業が

2003年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(1)

(2003年4月1日～2004年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	520,000	
賛助会員会費	55,000	575,000
2 寄付金等収入		
寄付金	12,646,739	
補助金	5,664,567	18,311,306
3 事業収入		
受託事業事務補助	51,611,396	
NPO就労部門	2,201,389	
アル缶支援部門	85,086,122	138,898,907
4 雑収入		
預金利息他	287,135	287,135
経常収入合計(A)		158,072,348
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	3,117,174	
就労部門事業費	2,354,669	
アル缶支援部門事業費	87,749,053	93,220,896
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	408,390	
給料	48,909,438	
社会保険料	5,218,722	
家賃	820,000	
水道光熱費	708,390	
消耗品費	1,239,519	
研修費	6,520	
会議費	5,650	
広報費	846,352	
通信費	733,258	
交通費	506,070	
車両費	415,022	
リース料	78,750	
損害保険料	518,130	
雑費	924,018	64,938,229
経常支出合計(B)		158,159,125
経常収支差額(A)-(B)		△ 86,777
前期繰越収支差額(C)		5,424,860
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		5,338,083

増額の原因は、大阪府の高齢日雇労働者就労自立促進事業が年度内一杯まで事業実施期間が延長されたこと、大阪市の事業で増員があったこと、臨時緊急夜間宿所が一箇所増設されたことによる。

年度途中で増額となって事業があった一方で、年度途中で減額の契約変更をした事業（ホームレス常用雇用

【収入明細】

<寄付金>	
加藤 光弘	545,904
中川孝史	340,000
連合・愛のカンパ	500,000
松繁(印税・講演謝礼)	261,000
世明	220,000
ノートルダム教会修道女会	150,000
エスケイ(白川)	600,000
煉獄援助修道会	110,000
匿名(32件分)	6,103,482
他個人・団体(257件分)	3,816,353
計	12,646,739
<補助金>	
大阪市家賃助成金	226,800
赤い羽根募金	200,000
大阪府社会福祉協議会	168,000
大阪府府民共済	1,000,000
公衆衛生	4,069,767
計	5,664,567
<NPO就労収入>	
メーデー会場清掃作業	848,389
ノートルダム教会清掃作業	380,000
フランスコ会清掃作業	919,000
チビッコハウス制作	54,000
計	2,201,389
<雑収入>	
大阪NPOセンター職業訓練謝礼	251,834
預金利息	3,086
コピー使用料	32,215
計	287,135

促進事業) や還付した事業 (センター就
 労幹旋機能回復事業) もあった。ホーム
 レス常用雇用促進事業の減額は、自立支
 援センターでは求職活動が中心となり、
 予定就労数が達成されなかった事による。

センター就労幹旋機能回復事業では、1
 週間連続勤務であるが、途中で欠勤する
 ものがあり、予定就労数に達しなかった
 事による。

2003年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表(2)【受託事業の部】
 (2004年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
 (単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手元有高	17,307,543		
普通預金	りそな銀行萩之茶屋支店	8,832,979		
普通預金	UFJ 銀行萩之茶屋支店	11,763,790	37,904,312	
仮払金		32,280,501	32,280,501	
2 保険印紙				
雇用保険印紙		2,358,117		
健康保険印紙		2,087,647	4,445,764	
流動資産合計				74,630,577
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3月度消耗品費等	9,057,507		
未払賃金		1,660,050		
未払消費税		42,349,082		
預り金				
	社会保険料	7,146,833		
	返還金	2,099,347		
支払引当金	社会保険料	12,317,758	74,630,577	
流動負債合計				74,630,577
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			0	
当期正味財産増加額			0	
正味財産合計				0
負債及び正味財産合計				74,630,577

※注: 返還金内訳

- ①1,769,000円はセンター周辺就労機能回復事業
- ②330,347円はあいりん臨時緊急夜間避難所(萩之茶屋)運営事業

(2)アルミ缶事業の増収について
釜ヶ崎支援機構本会計の事業収入が大増収となった。野宿生活者自助努力援助

事業として取り組んでいるアルミ缶の買い取りが、年間で793トンを越え、売り上げ金額としても8千5百万円になったから

2003年度 特定非営利活動にかかわる事業会計貸借対照表(1)
(2004年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手元有高	1,088,584		
普通預金	りそな銀行菟之茶屋支	599,411		
郵便貯金	花園北郵便局	1,015,710		
郵便振込口座		1,088,220		
近畿労働金庫		10,000	3,801,925	
保証金		2,040,000		
前払リース料		393,750		
仮払金		702,050		
立替金		82,582		
貸付金		114,335	3,332,717	
流動資産計			7,134,642	
資産合計				7,134,642
II 負債の部				
1 流動負債				
預り金	職員源泉所得税	155,270		
	社会保険料	739,537		
	その他	800		
支払引当金	社会保険料	900,952	1,796,559	
流動負債計			1,796,559	
負債合計				1,796,559
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			5,424,860	
当期正味財産増加額			△ 86,777	
正味財産合計			5,338,083	
負債及び正味財産合計				5,338,083

※注1: 資金の範囲は現金預金とする
 ※注2: 保証債務はなし
 ※注3: 保証金は就労機会提供事業(大阪府分)で使用する駐車場4ヶ所分
 ※注4: 仮払金・貸付金・立替金はアルミ缶・福祉部門のもの
 ※注5: 近畿労働金庫口座は労金の定額カンパ制度を活用するためのもの

である。

ただ、売り上げの大きさが利益に結びついては、アルミ缶の買い取りや業者への運び込みなどの人件費(といえるほどの額は支払えていないのだが)などの経費を引くと、約270万円の赤字となっている。年間延べ7万4千人から買い取っている自助努力援助事業。赤字だからやめるとはいかない。

2003年度 アルミ缶支援事業収支報告書(参考)

(2003年4月1日～2004年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

(単位:円)

(3) 60歳以上敷金支給の福祉相談

昨年9月から、敷金支給付きの生活保護申請に取り組んできた。60歳以上については、稼働能力を活用しようと努めている事をハローワークの求職受付票の職業相談のスタンプで証明することで問題なくは申請受理され、生活保護生活に移行している。

これまで福祉相談部門の相談内容は、
 ①65歳以上については敷金なしの簡宿転用アパートに入居しての生活保護申請。
 ②市更相を通じての施設入所相談。③市更相・医療センターを通じての入院・通院相談。④生活保護生活移行後や入院後のアフターケア(借金精算や服薬・金銭管理など)。上記4点が主な内容であったが、生活保護相談対象年齢が5歳下がり、敷金支給されることで住居の選択幅が増えることによって生活保護(居宅)移行への相談件数が飛躍的に増大するにいたっている。

相談件数の増大は、アフターケア件数の増大をとめない、預かる金銭も370万円にもなっている。ミニ銀行状態であるといえる。個々人別に金銭出納簿を記入し、金銭移動の時には受け取りなど書面をかわす事を励行し、毎日金種・現金有り高確認をおこなって、過誤防止に努めている。今後は、「安心サポート」などとの連携を検討する必要があると考えている。

毎土曜日の「ゴルフ」も継続している。

科 目	金 額	摘 要
<収入の部>		
アルミ缶売却収入	85,086,122	774ト、662.4kg
収入合計(A)	85,086,122	
<支出の部>		
アルミ缶買取費用	81,707,582	793ト、295.9kg
ボランティア報酬	3,956,900	
賃金	168,000	
車両費	414,595	
ガソリン代	910,856	
通信費	182,166	携帯電話料
消耗品費	147,000	はかり、袋など
印紙代	12,800	領収書貼付用
雑 費	263,394	両替、地図など
支出合計(B)	87,763,293	
収支差額(A)-(B)	△ 2,677,171	

*売却トン数と買い取りトン数の誤差は、買い取りが小口、売却は大口であることによる計量差の累積が原因。持ち込み年間人数=大阪城25,360人、中之島49,549人

2003年度福祉部門収支報告書(参考)		
	業務充当金	2,515,989
	福祉部門寄付	601,184
	受取利息	1
192,176	福祉・事務用消耗品費	
32,990	福祉・雑費	
641,460	福祉・交通費	
26,715	福祉・消耗費	
261,971	福祉・通信費	
260,921	福祉・支援金	
180,000	レクレーション謝礼	
47,548	雑費	
590,293	貸倒損失	
2,234,074	合計	3,117,174
883,100	収支差額	
868,837	前期繰り越し	
1,751,937	次期繰越	
福祉貸借対照表(参考)2004年3月31日現在		
233,431	福祉・小口現金	
62,168	福祉・普通預金	
22,612	福祉・立替金	
1,433,726	福祉・貸付金	
3,696,182	預かり現金	
	預かり金	3,696,182
5,448,119	合計	3,696,182
	前期繰り越し	868,837
	当期増減	883,100
	次期繰越	1,751,937

*預かり金は48名分

2004 年度事業計画（案）

（1）受託事業の確実な執行

今年度も、就労事業を中心に、総額 9 億 2 千 5 百万円に達する事業の委託を受けている。

「前年に引き続き」の慣れに陥ることなく、各事業の目的を確実に達成することに努める。

また、経費の節約に努め、人件費にまわし雇用の拡大をめざしたい。

（2）「基金」後の予算確保を

就労機会提供事業の原資は、「緊急地域雇用創出基金」でまかなわれている。その基金は、本年度までの期間が切られて設けられたもので、来年度については、就労機会提供事業についてどのような行政予算の枠組みの中で実施されるのか、見通しがたっていない状況である。

就労機会提供事業は、野宿生活者・釜ヶ崎の高齢日雇労働者にとっては今や欠かせないものとなっており、その存続に向けて、取り組む。

そのために、輪番就労の現場でアンケート調査をおこない、その結果をもって、事業の必要性と効果を広く訴える。

また、事業の存続を求めて、国会に対する請願署名運動を展開し、国会議員や国に対する働きかけをおこなう。

（3）働く 機会の拡張を目指して

釜ヶ崎支援機構が野宿生活者対策の基本と考えているのは、あくまでも就労機

会提供事業であり、それは当面、行政の仕事出しに期待せざるをえないが、それ以外にも就労機会の拡大を図る必要がある事も確かである。

そのために、職業訓練・技能講習の科目を増やす努力をするとともに、実際に日銭の稼げる仕事探しをおこない、野宿生活者に就労機会の一助として提供する。

その試みとして「内職センター」がすでに発足している。

目的を達するためには、職業訓練・技能講習をおこない、なおかつ、収入を伴う作業を行う場所の確保が必要である。

大阪府・市の実施計画に沿う事業としての認知を求め、場所提供についての協力を要請する。

（4）福祉相談の多様化を

福祉相談部門の現状を維持するとともに、健康相談やサラ金問題などの相談については専門諸団体と連携を深める事に努める。

また、相談途中あるいは相談後のケアのために必要な施設の確保を目指す。そのために、長期借入金の活用も視野に入れることとする。

（5）実施計画の多様さの現実化

大阪府。市が策定した実施計画の内容は多様であるが、実現可能性の乏しい点多々ある。具体的な提案をし、実施について協力することで、実施計画を実効

性ある物とすることに努める。

(6) 環境・まちづくりの視野を

環境問題解決に向けての試みやまちの活性化を図るための試みなどが雇用創出におおきな役割を担うことを認識し、環境

やまちづくりで、他団体との連携を深めていく事に努める。

(7) 社会的援護を要する人々

他の社会的援護を要する人々を含めた、セイフティネットの構築を模索する。

2004年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支予算書(2)【受託事業の部】
(2004年4月1日～2005年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 事業収入		
あいりん生活道路清掃事業	83,943,300	83,943,300
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	51,999,143	
保育所環境美化推進事業	51,999,143	
児童遊園環境美化推進事業	51,999,143	
各区環境美化推進事業	137,692,647	
市有地環境美化推進事業	32,536,374	326,226,450
高齢日雇労働者就労自立促進事業	214,369,000	
ホームレス常用雇用促進事業	71,031,000	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	63,445,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	58,733,001	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	25,999,250	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	40,042,884	
公共施設等の除草・清掃作業等の環境美化事業	31,794,840	
野宿生活者能力活用推進事業	9,597,588	515,012,563
経常収入合計(A)		925,182,313
II 経常支出の部		
1 事業費		
あいりん生活道路清掃事業	83,943,300	83,943,300
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	51,999,143	
保育所環境美化推進事業	51,999,143	
児童遊園環境美化推進事業	51,999,143	
各区環境美化推進事業	137,692,647	
市有地環境美化推進事業	32,536,374	326,226,450
高齢日雇労働者就労自立促進事業	214,369,000	
ホームレス常用雇用促進事業	71,031,000	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	63,445,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	58,733,001	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	25,999,250	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	40,042,884	
公共施設等の除草・清掃作業等の環境美化事業	31,794,840	
野宿生活者能力活用推進事業	9,597,588	515,012,563
経常支出合計(B)		925,182,313
経常収支差額(A)-(B)		0
前期繰越収支差額(C)		0
次期繰越収支差額[(A)-(B)]+(C)		0

※注:いずれの契約においても年度末残高は返還することとなっている

2004年度 特定非営利活動にかかわる事業会計収支予算書

(2004年4月1日～2005年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援 機構

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	510,000	
賛助会員会費	35,000	545,000
2 寄付金等収入		
寄付金	7,000,000	
補助金	2,000,000	9,000,000
3 事業収入		
受託事業事務補助	50,000,000	
NPO就労部門	1,000,000	
アル缶支援部門	85,000,000	136,000,000
4 雑収入		
預金利息他	35,000	35,000
経常収入合計(A)		145,580,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	4,000,000	
就労部門事業費	1,000,000	
アル缶支援部門事業費	86,000,000	91,000,000
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	410,000	
給料	45,400,000	
社会保険料	4,900,000	
家賃	820,000	
水道光熱費	700,000	
消耗品費	600,000	
研修費	100,000	
広報費	600,000	
通信費	600,000	
交通費	400,000	
車両費	400,000	
損害保険料	500,000	
その他	300,000	59,330,000
経常支出合計(B)		150,330,000
経常収支差額(A)-(B)		△ 4,750,000
前期繰越収支差額(C)		5,424,860
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		674,860

高齢者特別清掃事業登録者一斉健康診査 公衆衛生部門

昨年 9 月に、高齢者特別清掃事業就労者を対象に、初めて一斉の健康診査を初めて行ないました。対象予定数は、ちょっとした中小企業なみの 1,500 人という規模で検診計画が立てられました。

今回の事業は大阪府立大学黒田教授を中心とした、大阪ホームレス健康問題研究会が厚生労働省科学研究費を使っただけの研究の一環という枠組みの中で初めて実現可能になりました。

診査項目は法令に定められた一般の健康審査に準じ行なわれました。検尿、血液検査、血圧・体重・身長測定。

実施期間は、9 月 20 日から 29 日。ただし 9/24 は雨で中止。受診総数は 1246 名でした。

今年度の高齢者特別清掃事業登録者は、2,893 名で、うち 301 名は過去一年間(現時点で 10 ヶ月)一度も就労してない方がいるので実際の活動登録者は 2,592 名。約半数に対して実施したということができません。

驚くべきことに、初日の結果が返って来た時すでに C/D 判定者(要医療・要精検者)が全体の 2/3 を占めていたことです。この傾向は結果的に今回の健診結果全般についても同様であることが判明しました。これには集団検診専門業者の担当者も、他に見られない結果と驚いてお

られました。

年齢層は、

55 歳以下：3(0.2%)

55 歳以上 60 歳以下：513(41.2%)

60 歳以上 65 歳以下：582(46.7%)

65 歳以上：149(12%)

で、特掃が原則 55 歳以上登録の事業ですから、当然ながら、55 歳から 65 歳が全体のほとんどを占めています。

男女比は、

女性：4(0.3%)

男性：1243(99.7%)

わずかながら女性が存在しています。

全体の判定の割合は、

ALL-A 判定者：55(4.4%)

A/B 判定者：318(25.5%)

C/D 判定者：914(73.4%)

受診者全体の 7 割にあたる人が要医療・要精検に該当していることは、これからの釜ヶ崎支援機構における保健・医療活動に大きな課題となりました。

細かい結果の数値はここでは紹介しませんが、際立っているのは高血圧症・肝機能・糖尿・胸部レントゲンで問題のある方が多かったことです。

現時点までの入院患者数は、肺結核症で 6 人(他に 1 名が Dots:通院による直接服薬確認治療)。

他の疾患では現時点でつかんでいる限

りの数字は、557人。

多くの企業等でも健診はしたがしっぱなしが多いと聞いていますが、ここでは限られた人的資源（医師・看護師・保健士などのボランティア）ではありますが、就労前や就労後に、数値に問題がある人に声掛けして、てその後の経過を観察・指導しています。

また高血圧症のケースでは塩分の摂取を抑える等の指導をしていますが、高齢者特別清掃事業だけに現金収入を頼っている方々は、インスタントラーメンに頼っている方が多く、生活自身を支えることがないと、医療介入がむなしという現実も見せられています。

また今回の健診を通して客観的に自分の健康状態がわかり、生活保護に移ったかたもいると聞いています。

今年度の集団検診実施も決まっており、2年連続受診の人の健康状態の変化、新規登録者の健康状態の把握、そして、その数値に基づいた健康相談、医療機関への誘導を深めていきたいと思っています。

いままで路上生活者及びその予備軍とも言える人々の健康管理は手付かずでしたが、これを契機に今まで忘れられていた人々の健康問題に人々の目が開かれ、

早期の医療の介入によって医療コストの面からも益があることを理解してもらえれば、当事者にとっても社会全体にとっても望ましいことであると考えられます。

赤血球、国民栄養調査との比較

単位:立方ミリメートル	今回調査		
	全体	50歳代	60歳代
410万個未満	12.1%	10.9%	13.0%
410～449	25.7%	26.5%	25.2%
450～449	42.7%	41.6%	44.2%
500万個以上	19.5%	21.0%	17.6%
	100%	100%	100%
単位:立方ミリメートル	国民栄養調査		
	50歳代	60歳代	
410万個未満	3.5%	9.2%	
410～449	22.7%	29.8%	
450～449	53.1%	47.9%	
500万個以上	20.7%	13.1%	
	100%	100%	

「研究報告書」より作成。基準値 410～530 万個/立方ミリメートル（男性）。いわゆる、貧血の人が50歳代で平均の3倍近くいることがわかる。

いつも暖かいご支援を誠にありがとうございます。皆様の寄付金や衣類、日用品、食料等のカンパで活動が支えられています。今後とも宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 会報 23号 2004年5月12日

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-5-4

電話 06(6630)6060 FAX06(6630)9777

会費・寄付の振込口座:郵便振替:00900-1-147702 釜ヶ崎支援機構

福祉部門への振込口座:UFJ銀行萩之茶屋支店(普)1114951 釜ヶ崎支援機構